

青少年健全育成

青少年の健全な育成の促進のために活動



車いすマラソンでの体験を熱く語る山本さん

■甲佐町青少年健全育成町民会議の平成26年度総会を開催

6月21日（土）に町生涯学習センターで、甲佐町青少年健全育成町民会議の平成26年度総会が開催されました。

同会議（奥名克美会長）は、町の未来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に、昭和60年に発足しました。現在は育成部会、指導部会、啓発環境部会の3部会で構成され、キャンプや球技大会などのイベントや、教育パトロール、あいさつ運動などの青少年健全育成活動に取り組んでいます。総会では、ナイトハイクや教育パトロールなどの事業実施が決定され、本町の地域全体で青少年の健全育成に取り組むことを宣言し

ました。

■車いすマラソン選手の活躍と
思うについての講演会を開催

総会後に開催された講演会には、熊本機能病院顧問（総合支援センター長）の山本行文さんを講師に迎え、『私とスポーツ』くパラリンピックで感じたもの』と題して、講演が行われました。

山本さんは、幼いころからさまざまなスポーツに汗を流し、所属した自衛隊では実業団バレー選手として活躍されていましたが、仕事上の事故で車いす生活となりました。「大好きなスポーツができなくなり落ち込んでいたときに、車いすマラソンに出会い、車いすでもまたスポーツができることがとてもうれしかった」と山本さんは話しました。

その後、車いすマラソン選手としてパラリンピックに3回出場され、日本記録も樹立。「パラリンピックで、両手の握力が弱い車いす選手がさまざまな工夫をしてフルマラソンを走り切る姿を見て、『失ったものを数えるのではなく、残ったものを最大限に生かすことが大切』と感じました」と参加者に熱く語りました。

町社会教育課 ☎096-234-2447（内線324） ✉klg110@town.kosa.lg.jp

男女共同参画

■育児にはげむ「イクメン」などの男性の皆さんをご紹介します

共働き家庭などの増加で、家事や子育てに積極的に参加する男性が増えています。

男性の皆さんに、男女共同参画について考えていただくために、「家事男（カジダン）・男の人が進んで家事を行うこと」、「育爺（イクジイ）・孫の育児を手伝うおじいさんのこと」、「イクメン（育児に励む男の人のこと）」の皆さんをご紹介します。

■良き父、良き夫になるための努力を続けていきたい

先日、娘が4歳の誕生日を迎え、これを機に私の4年間を振り返ってみました。決して「イクメン」

家事や子育てに奮闘する男性をご紹介します⑦



家族は私の大切な「宝物」

ン」ではなかったように思います。それは「男は仕事、女は家事、育児」という昔ながらの考えに重きを置いていたからかもしれません。しかし、全く何もしてこなかったのではなく、日々の暮らしの中で私にできることはやってきたつもりで、「やらなければいけない」と気を張るよりも自然体でいるほうが、より自分らしく協力できると考えたからです。

日々成長する娘の姿を見ると、この上ない幸せを感じ、また妻の家事、育児に対しては、感謝をして止みません。

これから先もイクメンになれるかどうかはわかりませんが、良き父、良き夫であるための努力は怠らないようにしたいです。なぜなら、家族は私の「宝物」だから…。(T・I)

■家事や子育てに奮闘する様子を
ご紹介させていただきます

男性の皆さん方が日ごろの家事や子育てに奮闘されている様子をぜひ『広報こうさ』で紹介させていただきます。

※応募する際は、写真および子育てについての意見などを町総務課までご提出ください。

町総務課 ☎096-234-1140（内線241） ✉klg202@town.kosa.lg.jp